　1.　名古屋大学医学部附属病院特定行為研修の教育理念

名古屋大学医学部附属病院は、看護師特定行為研修（以下「特定行為研修」という。）を通して地域医療の質向上に貢献し、安全で安心な医療を提供できる人材を育成することを目的とします。特定行為研修は、患者及び国民そして医師・歯科医師やその他の医療関係者から期待される役割を担うために、急性期医療や在宅医療の現場において高度な臨床実践能力を発揮できる看護師を養成する基盤を構築するものです。そして、特定行為研修を通して、社会的責任と役割を自覚し新たな医療の発展に寄与することを目指します。

2.　看護師特定行為研修の目標

１）地域医療及び高度医療の現場において、迅速かつ包括的なアセスメントを行うための、

知識、技術及び態度の基礎的な能力を養う。

２）患者の安全に配慮し、臨床判断を適切なタイミングで行い、必要な特定行為を実施できる能力を養う。

３）患者の状態に応じた適切な医療を、多職種と協働して提供するための能力を養う。

3.　特定行為研修の特色

卒後臨床研修・キャリア形成支援センターに所属する各学会認定の指導医・専門医資格を有する医師を中心とし、専門看護師・認定看護師・特定行為研修を修了した看護師による講義・演習・実習を行います。共通科目・区分別科目は、e-learningを活用することで効率的に繰り返し学習ができ、臨床実践が円滑になるように学習環境や指導者のサポート体制を充実させ、学習効果が高められるよう支援します。また、コースは急性期・慢性期・在宅・感染など6つの領域別コースと、厚生労働省が提示する実施頻度の高い特定行為のパッケージ化により、2つの領域別パッケージコースを設定しました。

4.　研修概要

　特定行為研修は、全ての特定行為区分に共通する「共通科目」と各特定行為に必要とされる能力を身につけるための「区分別科目」に分かれており、研修は、講義、演習、実習によって行われます。なお、区分別科目の受講は、共通科目の履修終了が条件となります。本研修は、特定行為区分を組み合わせた6つの領域別コースと2つの領域別パッケージからひとつの領域を選択する形式となります。なお、2019年1月より共通科目、区分別科目において研修の時間数が変更となります。

1）共通科目：特定行為区分に共通して必要とされる能力を身につけるための科目

（研修期間の目安：6か月）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 共通科目名 | 時間数 | 受講料（税込） |
| 臨床病態生理学 | 30時間 | 457,600円 |
| 臨床推論 | 45時間 |
| フィジカルアセスメント | 45時間 |
| 臨床薬理学 | 45時間 |
| 疾病・臨床病態概論 | 40時間 |
| 医療安全学 | 45時間 |
| 特定行為実践 |
| **合計時間数** | **250時間** |

＊e-learningによる講義は自宅または名古屋大学医学部附属病院内特定行為研修室での視聴が可能です。

＊演習・実習等は集合形式で実施します。

2）区分別科目：各特定行為に必要とされる能力を身につけるための科目

（研修期間の目安：6か月）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| NO. | 区分別科目 | 時間数 | 受講料（税込） |
| ① | 呼吸器（気道確保に係るもの）関連 | 9時間 | 32,230円 |
| ② | 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 | 29時間 | 92,180円 |
| ③ | 呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連 | 8時間 | 30,800円 |
| ④ | 胸腔ドレーン管理関連 | 13時間 | 43,890円 |
| ⑤ | 腹腔ドレーン管理関連 | 8時間 | 30,800円 |
| ⑥ | 栄養に係るカテーテル管理  （中心静脈カテーテル管理）関連 | 7時間 | 26,400円 |
| ⑦ | 栄養に係るカテーテル管理  （末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連 | 8時間 | 30,800円 |
| ⑧ | 創傷管理関連 | 34時間 | 105,380円 |
| ⑨ | 創部ドレーン管理関連 | 5時間 | 22,000円 |
| ⑩ | 動脈血ガス分析関連 | 13時間 | 43,890円 |
| ⑪ | 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 | 16時間 | 52,690円 |
| ⑫ | 感染に係る薬剤投与関連 | 29時間 | 92,180円 |
| ⑬ | 血糖コントロールに係る薬剤関連 | 16時間 | 52,690円 |
| ⑭ | 術後疼痛管理関連 | 8時間 | 30,800円 |
| ⑮ | 循環動態に係る薬剤投与関連 | 28時間 | 87,780円 |
| ⑯ | 精神および神経症状に係る薬剤投与関連 | 26時間 | 83,490円 |

5.開講する領域コースと募集定員

6つの領域別コースと2つの領域別パッケージコースのうちからひとつの領域を選択します。選択科目は複数選択可とします。

(1)領域別コース

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 領域 | 区分別科目 | | 受講料 | 定員 |
| 救急・集中ケア | 必修 | ①呼吸器（気道確保に係るもの関連）  ②呼吸器（人工呼吸療法に係るもの関連）  ⑩動脈血液ガス分析関連  ⑮循環動態に係る薬剤投与関連 | 256,080円 | 5名 |
| 選択 | ⑥栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）  ⑦栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）  ⑭術後疼痛管理関連  ⑯精神及び神経症状に係る薬剤投与関連 | 26,400円  30,800円  30,800円  83,490円 |
| 周術期 | 必修 | ①呼吸器（気道確保に係るもの関連）  ②呼吸器（人工呼吸療法に係るもの関連）  ⑩動脈血液ガス分析関連  ⑭術後疼痛管理関連 | 199,100円 | 5名 |
| 選択 | ⑮循環動態に係る薬剤投与関連 | 87,780円 |
| 創傷管理 | 必修 | ⑧創傷管理関連 | 105,380円 | 5名 |
| 選択 | ⑪栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 | 52,690円 |
| 感染症管理 | 必修 | ⑪栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連  ⑫感染に係る薬剤投与関連 | 144,870円 | 5名 |
| 選択 | ⑥栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）  ⑦栄養に係るカテーテル管理（末梢留.置型中心静脈注射用カテーテル管理） | 26,400円  30,800円 |
| 慢性疾患  管理 | 必修 | ⑪栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連  ⑬血糖コントロールに係る薬剤関連 | 105,380円 | 5名 |
| 在宅ケア | 必修 | ③呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連  ⑪栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 | 83,490円 | 5名 |

(2)領域別パッケージコース

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 領域 | 区分別科目 | | 受講料 | 定員 |
| 外科術後病棟管理領域 | 必修 | ①呼吸器（気道確保に係るもの）関連  ②呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連  ③呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連  ④胸腔ドレーン管理関連  ⑤腹腔ドレーン管理関連  ⑥栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連  ⑦栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連  ⑨創部ドレーン管理関連  ⑩動脈血ガス分析関連  ⑪栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連  ⑭術後疼痛管理関連  ⑮循環動態に係る薬剤投与関連 | 524,260円 | 5名 |
| 術中麻酔管理領域 | 必修 | ①呼吸器（気道確保に係るもの）関連  ②呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連  ⑩動脈血ガス分析関連  ⑪栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連  ⑭術後疼痛管理関連  ⑮循環動態に係る薬剤投与関連 | 339,570円 | 5名 |

＊名古屋大学医学部附属病院の領域別パッケージコースでは、厚生労働省が提出するパッケージの中で除かれた一部の特定行為も含めて研修を行います。

1）研修に要する期間

　研修期間は共通科目6ヶ月、区分別科目6ヶ月、計1年(在籍期間は限度2年)とします。

2）実習について

　区分別科目の臨床実習は原則、研修生の所属施設で行います。

6.　修了要件

本研修を修了するためには、次の条件を満たす必要があります。

1）共通科目をすべて履修し、筆記試験に合格すること

2）上記修了後、選択した区分別科目を履修し、筆記試験、観察評価、実技試験に合格すること

＊なお、特定行為研修終了後は、修了した特定行為区分ごとの修了証を交付し、研修修了者の名簿を厚生労働省に提出します。

7.　履修内容の読み替え

　　専門看護師教育課程、認定看護師教育課程、その他大学院等で既に履修した授業科目や

　時間数の取り扱い並びに受講時間数については、関連する科目の受講にあたり、当研修の

　教育内容に相当すると名古屋大学医学部附属病院特定行為研修管理委員会で判断された　場合に限り考慮します。

8. 　研修期間　　2020年1月1日（水）　～　2020年12月31日（木）　1年

9.　出願資格

　次の各号に定める要件をすべて満たしていることが必要です。

　【必須条件】

　1）看護師免許を有すること

　2）看護師免許取得後、通算5年以上の実務経験を有すること

　3）組織長の推薦を有すること

10.　出願手続き

　1）募集期間

　　　2019年8月1日（木）　～　2019年9月2日（月）（当日必着）

　2）募集要項請求方法

　　名古屋大学医学部附属病院看護キャリア支援室ホームページ「名古屋大学医学部附属病院特特定行為研修」から必要書類をダウンロードしてください。

　　ホームページ　https://nuh.can-career.nagoya/

【出願提出書類】

　1）志願書（別記様式第1）

　2）履歴書（別記様式第2）

　3）志願理由書（別記様式第3）

　4）推薦書（別記様式第4）

　5）認定看護師認定証あるいは専門看護師認定証等の写し（該当者のみ）

　6）特定行為研修修了証等の修了を証明する書類（該当者のみ）

　7）看護師免許（写：A4サイズに縮小して下さい）

　8) 受験票返送封筒 （受験票返送先の住所、氏名、郵便番号を明記した長３の封筒に送料

用切手392円　＜簡易書留料金＞を貼って下さい）

【出願書類提出先】

〒466-8560　愛知県名古屋市昭和区鶴舞65番地

　　名古屋大学医学部附属病院　卒後臨床研修・キャリア形成支援センター

　　看護キャリア支援室　　特定行為研修担当

＊「特定行為研修受講申請書類在中」と朱書きし「郵便書留」で送付して下さい。

11. 審査料

10,185円（消費税込み）

　＊申込書受領後、名古屋大学医学部附属病院経理係から振込用紙を郵送いたします。

12.　選考方法

　書類審査、面接にて行います。

　面接日時　2019年9月18日（水）13時00分～（予定）

13.　合否発表

選考結果につきましては、2019年9月27日（金）頃、ご本人様宛に簡易書留速達にて郵送します。なお、電話、FAX、メール等による合否のお問い合わせの対応はいたしません。

14.　受講手続きについて

　合格者の方に受講手続きの詳細をお知らせします。受講手続き期間及び受講料は以下のとおりです。

受講料は、受講手続き後に送付される専用振込用紙にて振り込み願います。専用の振込用紙以外の用紙を使用した場合、振込手数料は振り込み者の負担となるのでご注意下さい。

　【受講手続き期間】

2019年9月30日(月)　～　2019年10月29日(火)

　【受講料】

　　研修概要、開講する領域コースの欄を参照してください。

　　選択科目を履修する場合は、必修科目の受講料に追加となります。

　　＊一旦納めた受講料は原則として返還いたしませんのでご了承ください。

15.　 個人情報の取り扱いについて

　名古屋大学医学部附属病院では、「個人情報の保護に関する法律」を遵守し、個人情報の適切な取り扱いに努め、安全管理のために必要な措置を講じております。出願及び受講手続きにあたって提供いただいた個人情報は、選考試験の実施、合格発表、受講手続き、履修関係等に必要な業務に限り使用させていただきます。なお、当院が取得した個人情報は、法律で定められた適正な手続きにより開示を求められた場合以外に本学の承諾なしに第三者へ開示・提供することはありません。